

iFreeNEXT インド株インデックス

Nifty 50 Indexについて

2023年5月29日

今回のファンドレターでは、iFreeNEXT インド株インデックスが連動を目指す株価指数、Nifty 50 Indexについてご紹介します。

Nifty 50 Indexの概要

Nifty 50 Indexは、インド SENSEX Index[※]やMSCI India Index[※]と同様、インドを代表する株価指数の1つです。Nifty 50 Indexはインドナショナル証券取引所（以下、NSE）に上場する銘柄のうち、時価総額・流動性・浮動株比率等の基準を用いて選定された50企業で構成されています。指数ウエイトの決定方法は浮動株調整後時価総額加重方式で、1995年11月3日の基準日を1,000としてインドルピー建てで算出されています。

表1：インドを代表する株価指数の比較

	Nifty 50 Index	インド SENSEX Index	MSCI India Index
指数基準日	1995年11月3日	1979年4月3日	1992年12月31日
投資対象・ユニバース	NSE上場銘柄	ボンベイ証券取引所 上場銘柄	インドの株式市場 上場銘柄
構成銘柄	50銘柄	30銘柄	114銘柄
リバランス頻度	半年に1度 (3・9月)	半年に1度 (6・12月)	四半期に1度 (2・5・8・11月)
ウエイト決定方法	浮動株調整後時価総額加重	浮動株調整後時価総額加重	浮動株調整後時価総額加重
上位10企業 指数ウエイト	58.8%	67.3%	45.7%

※インド SENSEX Indexは、S&P Dow Jones Indices LLCの登録商標です。指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はS&P Dow Jones Indices LLCに帰属します。

※MSCI India Indexは、MSCI Inc.の登録商標です。指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。

※（出典）各種公表情報・Bloombergより大和アセットマネジメントが作成

※2023年4月末時点の情報

Nifty 50 Indexのメソドロジー概要

Nifty 50 Indexは前述の通りNSE上場銘柄から選定されますが、以下に示したように、Nifty 500 Index・Nifty 100 Indexを経て、Nifty 50 Indexが算出されます。以下のメソドロジーは概要版になりますので、詳細についてはNSE公開情報をご確認ください。

NSE上場銘柄

NSEに上場している銘柄。

- 過去半年の1日平均売買回転率と1日平均時価総額で上位800位以内にランクインしている銘柄
- 過去半年の取引日数のうち、少なくとも90%以上の日数で取引されている銘柄
- 時価総額が、上位350位以内の銘柄
- 時価総額が、直近のNifty 500 Index構成銘柄の1.5倍以上の銘柄
- 時価総額が、上位800位に含まれない株式はユニバースから除外
- 新規上場株式については過去半年ではなく3ヶ月間のデータに基づいて精査

投資適格ユニバース

- 投資適格ユニバースのうち、時価総額上位500位以内の銘柄

Nifty 500 Index

- Nifty 500 Indexに含まれている銘柄
- 時価総額が、上位90位以内の銘柄
- 時価総額が、直近のNifty 100 Index構成銘柄の1.5倍以上の銘柄
- 時価総額が、上位110以下のもの、またはNifty 500 Indexの構成銘柄から除外されたものは除外
- 新規上場株式については過去半年ではなく3ヶ月間のデータに基づいて精査

Nifty 100 Index

- 過去半年間の平均マーケットインパクトコストが0.5%以下で取引されている銘柄。バスケットサイズ1億ルピーに対して、過去半年間の取引日数の90%において、平均インパクトコストが0.5%以下である銘柄
- 6ヶ月の上場履歴がある銘柄。
- 先物・オプションセグメント（デリバティブ契約）での取引がある銘柄
- IPO銘柄も条件を満たす場合は、Nifty 50 Indexに組入られます。その際は、過去半年ではなく3ヶ月間のデータに基づいて精査

Nifty 50 Index

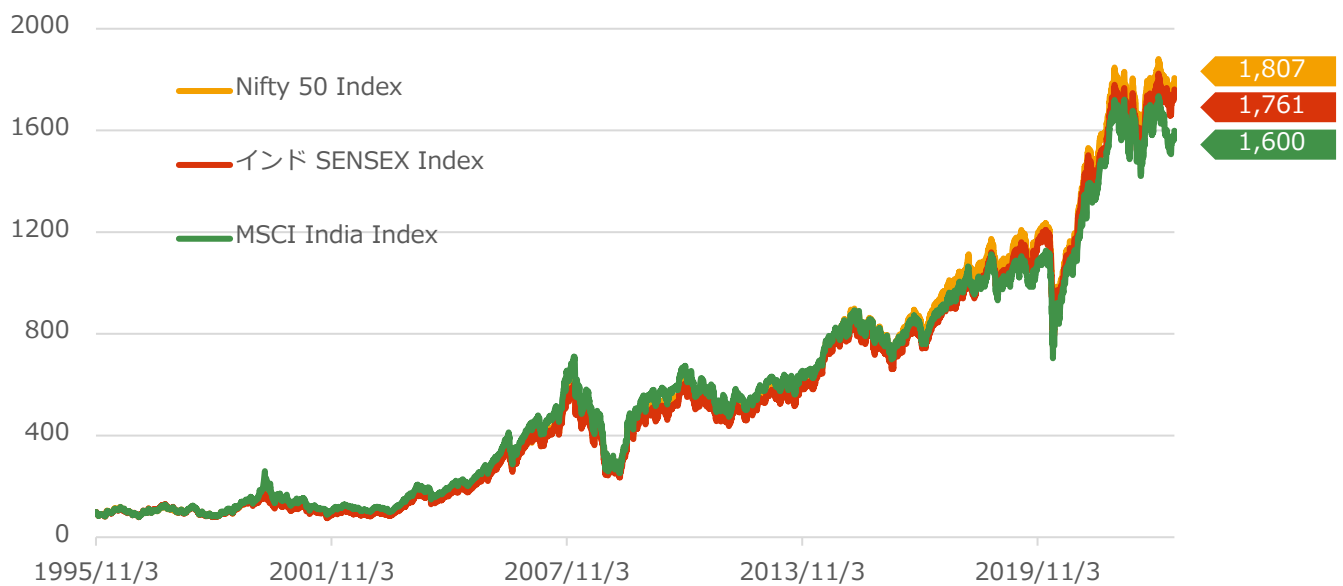
※（出典）NSE公開情報より大和アセットマネジメントが作成
 ※2023年4月末時点の情報

※Nifty 500 Index・Nifty 100 Indexは当ファンドが連動を目指す株価指数ではございません。

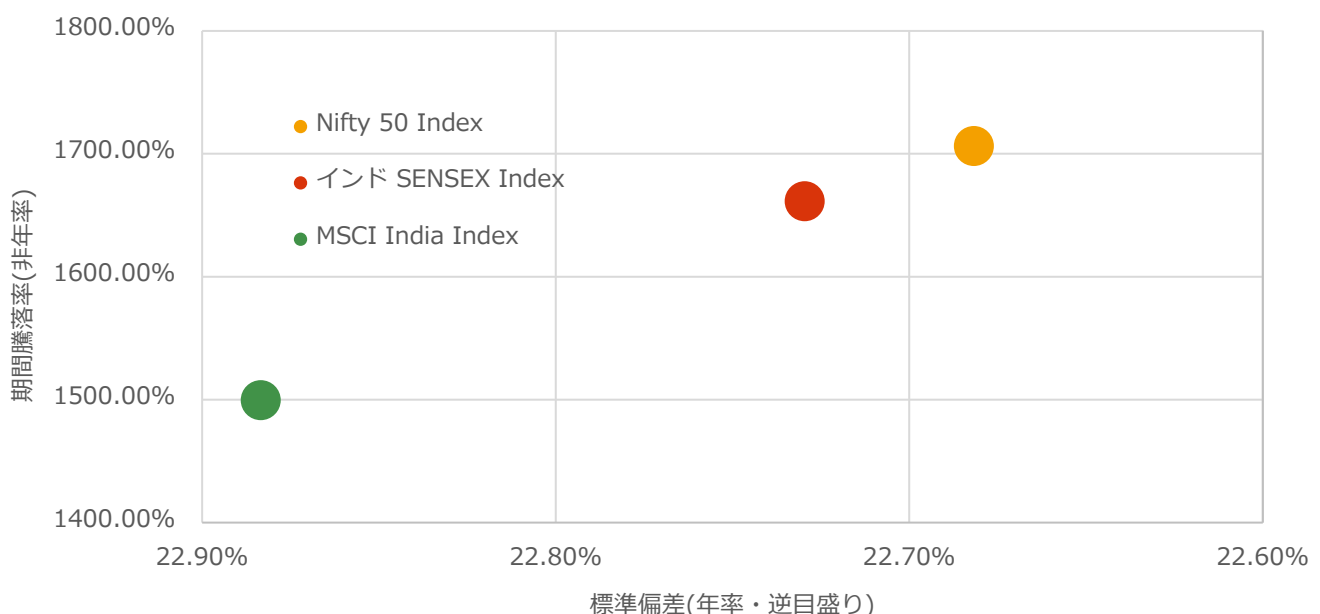
Nifty 50 Indexのパフォーマンス：Nifty 50 Index設定来

次にNifty 50 Indexとその他インド株価指数のパフォーマンスを比較します。基本的にどの指数もインド株式の株価指数になりますので、長期で見ると似たような動きをしますが、リスクリターンでは差が見られました。リスクリターンの標準偏差（X軸）は逆目盛りですので、右上に配置されている指数がより優れている（少ないリスクで高いリターンをもたらしている）ことになります。

■ グラフ1：各株価指数のパフォーマンス推移（1995/11/3～2023/04/28）



■ グラフ2：各株価指数のリスクリターン（1995/11/3～2023/04/28）



※（出典）Bloombergより大和アセットマネジメントが作成。

※パフォーマンス推移のグラフは、グラフ始点を100として指数化。現地通貨ベース。

※標準偏差（年率）は年間営業日を250として算出。

※インド SENSEX Indexは、S&P Dow Jones Indices LLCの登録商標です。指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はS&P Dow Jones Indices LLCに帰属します。

※MSCI India Indexは、MSCI Inc.の登録商標です。指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。

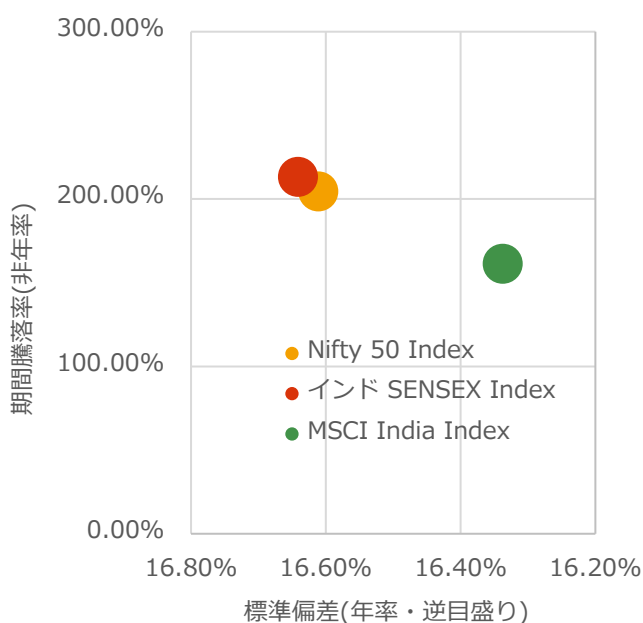
Nifty 50 Indexのパフォーマンス：過去10年

次に過去10年のパフォーマンス・リスクリターンに加えて、単年のパフォーマンスを確認します。単年のパフォーマンスを確認すると、同じインド株価指数とはいえ、リターンの幅（どの程度プラスかマイナスか）のみならず、1年だけではありますが、リターンの方向（プラスかマイナスか）にも差が出ていることがわかります。

■ グラフ3：各株価指数のパフォーマンス推移（2013/4/30～2023/04/28）



■ グラフ4：各株価指数のリスクリターン（2013/4/30～2023/04/28）



■ 表2：各株価指数の単年リターン（2013/4/30～2023/4/28）

	Nifty 50 Index	インド SENSEX Index	MSCI India Index
2013/5～2014/4	12.92%	14.94%	11.60%
2014/5～2015/4	22.18%	20.49%	18.27%
2015/5～2016/4	-4.05%	-5.20%	-4.03%
2016/5～2017/4	18.53%	16.84%	14.86%
2017/5～2018/4	15.43%	17.52%	15.22%
2018/5～2019/4	9.39%	11.01%	5.88%
2019/5～2020/4	-16.07%	-13.61%	-15.15%
2020/5～2021/4	48.39%	44.68%	47.00%
2021/5～2022/4	16.89%	16.97%	19.64%
2022/5～2023/4	5.63%	7.10%	-1.30%

※（出典）Bloombergより大和アセットマネジメントが作成。

※パフォーマンス推移のグラフは、グラフ始点を100として指数化。現地通貨ベース。

※標準偏差（年率）は年間営業日を250として算出。

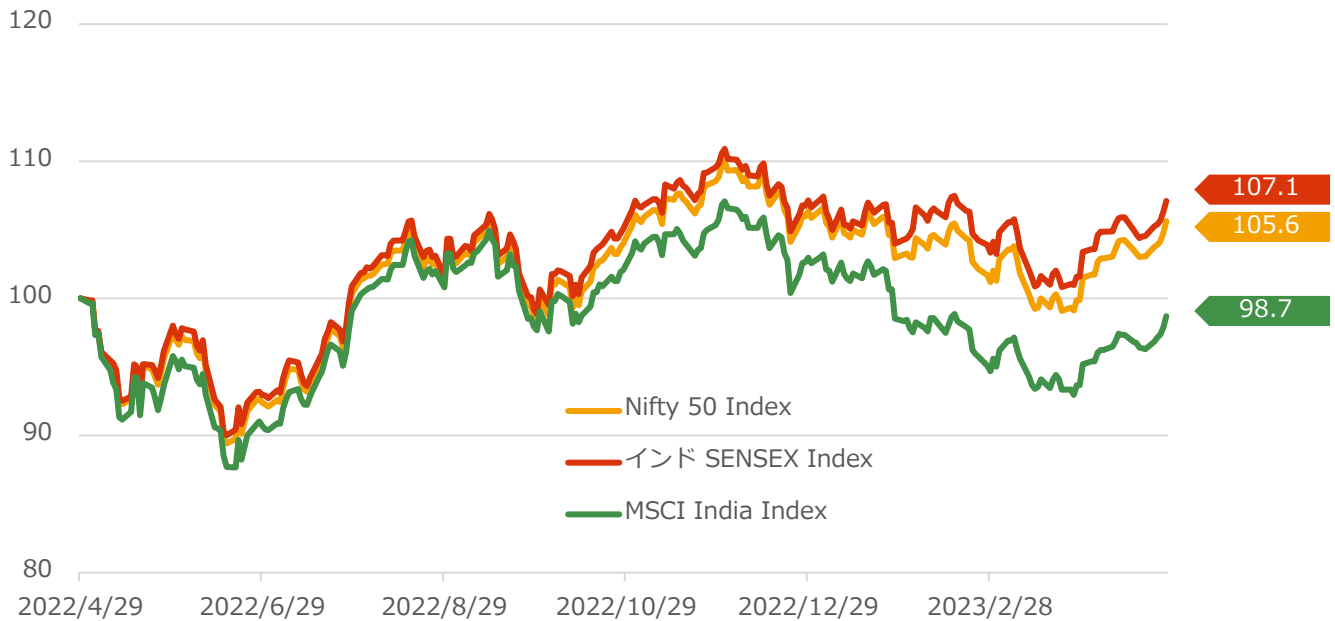
※インド SENSEX Indexは、S&P Dow Jones Indices LLCの登録商標です。指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はS&P Dow Jones Indices LLCに帰属します。

※MSCI India Indexは、MSCI Inc.の登録商標です。指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。

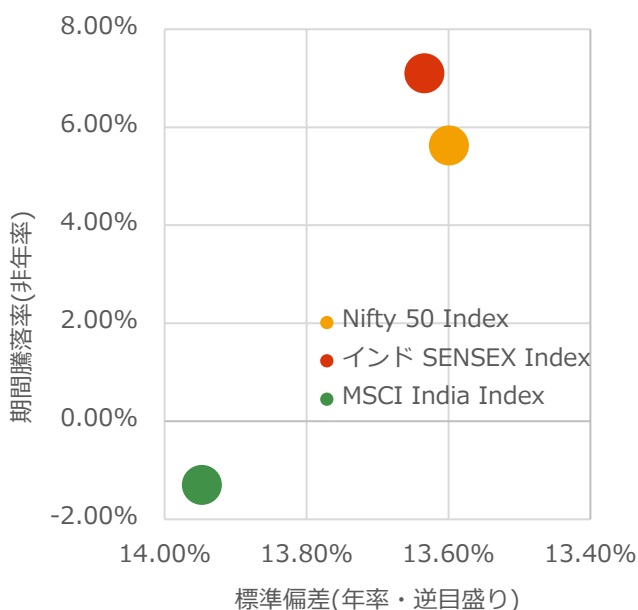
Nifty 50 Indexのパフォーマンス：過去1年

さらに、過去1年のパフォーマンス・リスクリターンに加えて、単月のパフォーマンスを確認します。先ほどの単年リターンとは異なり、リターンの方向は3つの指数で一致していますが、リターンの幅にはバラツキがあり、3%近くリターンに差がある月（2023/02のインドSENSEX IndexとMCSI India Index）があることがわかります。

■ グラフ5：各株価指数のパフォーマンス推移（2022/04/29～2023/04/28）



■ グラフ6：各株価指数のリスクリターン（2022/04/29～2023/04/28）



■ 表3：各株価指数の単月リターン（2022/04/29～2023/4/28）

	Nifty 50 Index	インド SENSEX Index	MSCI India Index
2022/05	-3.03%	-2.62%	-4.57%
2022/06	-4.85%	-4.58%	-5.22%
2022/07	8.73%	8.58%	9.57%
2022/08	3.50%	3.42%	4.20%
2022/09	-3.74%	-3.54%	-4.07%
2022/10	5.37%	5.78%	4.28%
2022/11	4.14%	3.87%	3.38%
2022/12	-3.48%	-3.58%	-3.97%
2023/01	-2.45%	-2.12%	-4.02%
2023/02	-2.03%	-0.99%	-3.81%
2023/03	0.32%	0.05%	0.54%
2023/04	4.06%	3.60%	3.68%

※（出典）Bloombergより大和アセットマネジメントが作成。

※パフォーマンス推移のグラフは、グラフ始点を100として指数化。現地通貨ベース。

※標準偏差（年率）は年間営業日を250として算出。

※インド SENSEX Indexは、S&P Dow Jones Indices LLCの登録商標です。指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はS&P Dow Jones Indices LLCに帰属します。

※MSCI India Indexは、MSCI Inc.の登録商標です。指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。

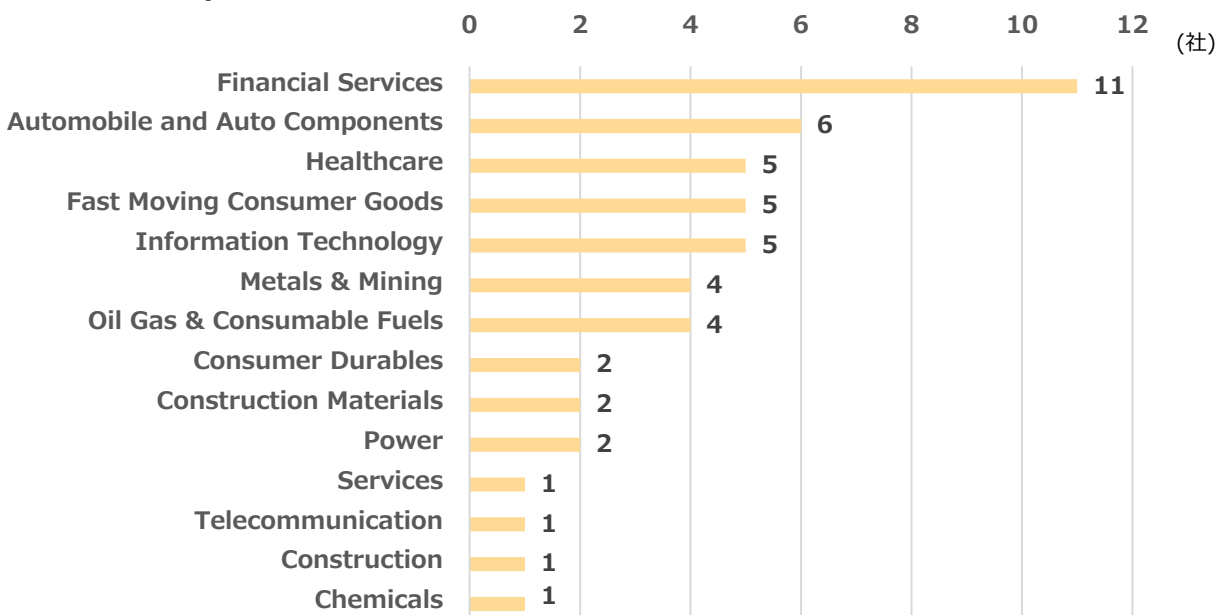
Nifty 50 Indexの構成銘柄・業種構成

最後に、Nifty 50 Indexの構成企業・業種構成を確認します。Nifty 50 Indexの組入上位10企業のうち5企業がFinancial Servicesとなっており、グラフ7・8（次ページ）からもわかるように、指数構成企業数・指数構成ウエイトの多くをFinancial Services企業が占めています。また、構成銘柄の指数組入ウエイトを、情報が公開されているMSCI India Indexと比較すると、Reliance Industriesはともに、指数組入ウエイト1位で10%超の組入となっていました。それ以下は全く同じというわけではなく、企業によっては組入ウエイトに数%以上の違いが見られました。

表4：Nifty 50 Indexの上位10銘柄

企業名	業種※1	指数ウエイト	(参考) MSCI India Index ウエイト
Reliance Industries	Oil Gas & Consumable Fuels	10.32%	10.16%
HDFC Bank	Financial Services	9.38%	-
ICICI Bank	Financial Services	8.08%	6.53%
Housing Development Finance Corporation	Financial Services	6.34%	6.61%
Infosys	Information Technology	5.63%	5.81%
ITC	Fast Moving Consumer Goods	4.73%	-
Tata Consultancy Services	Information Technology	4.16%	4.06%
Larsen & Toubro	Construction	3.60%	2.25%
Kotak Mahindra Bank	Financial Services	3.59%	-
Axis Bank	Financial Services	2.97%	2.70%

グラフ7：Nifty 50 Indexの業種ごとの構成社数

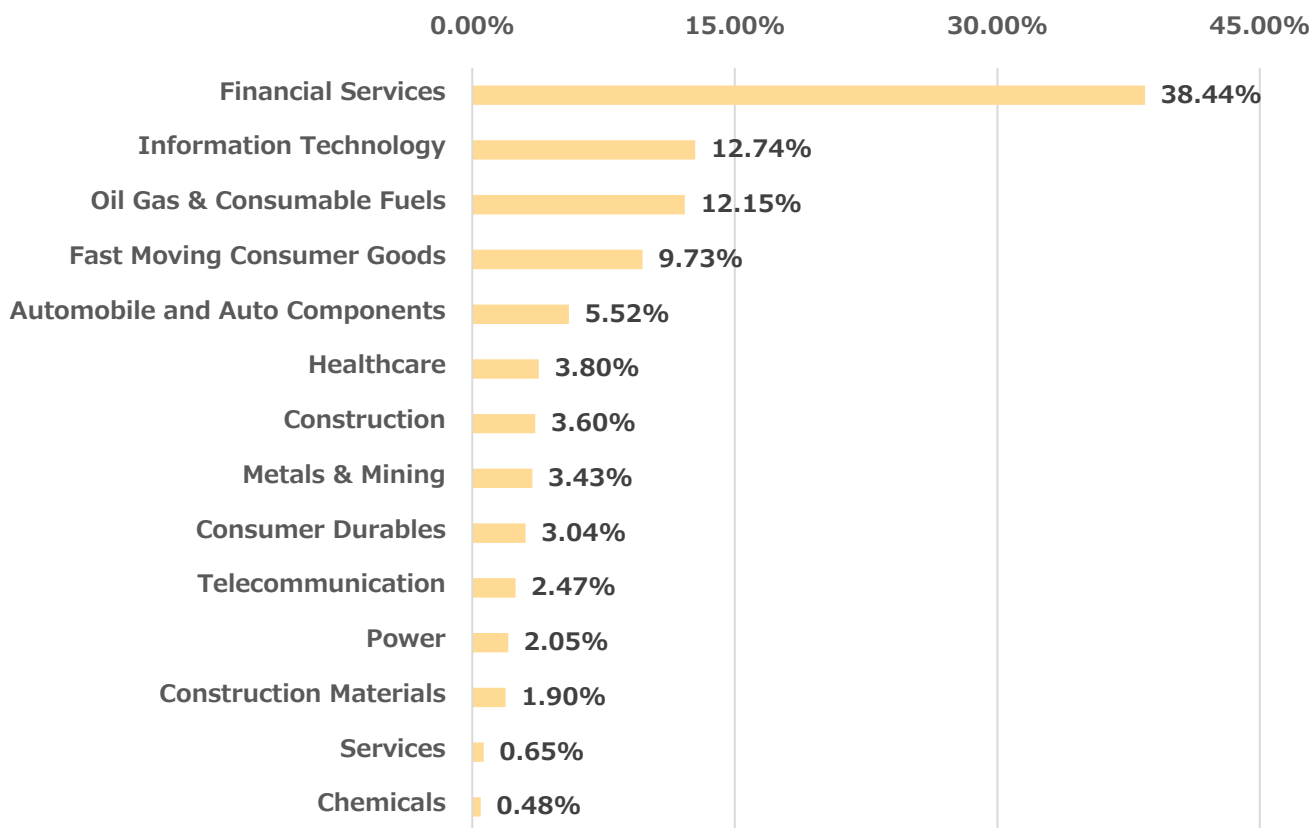


※1 Nifty 50 Indexの業種分類はインドナショナル証券取引所（NSE）が定めるNSE分類に準じています。

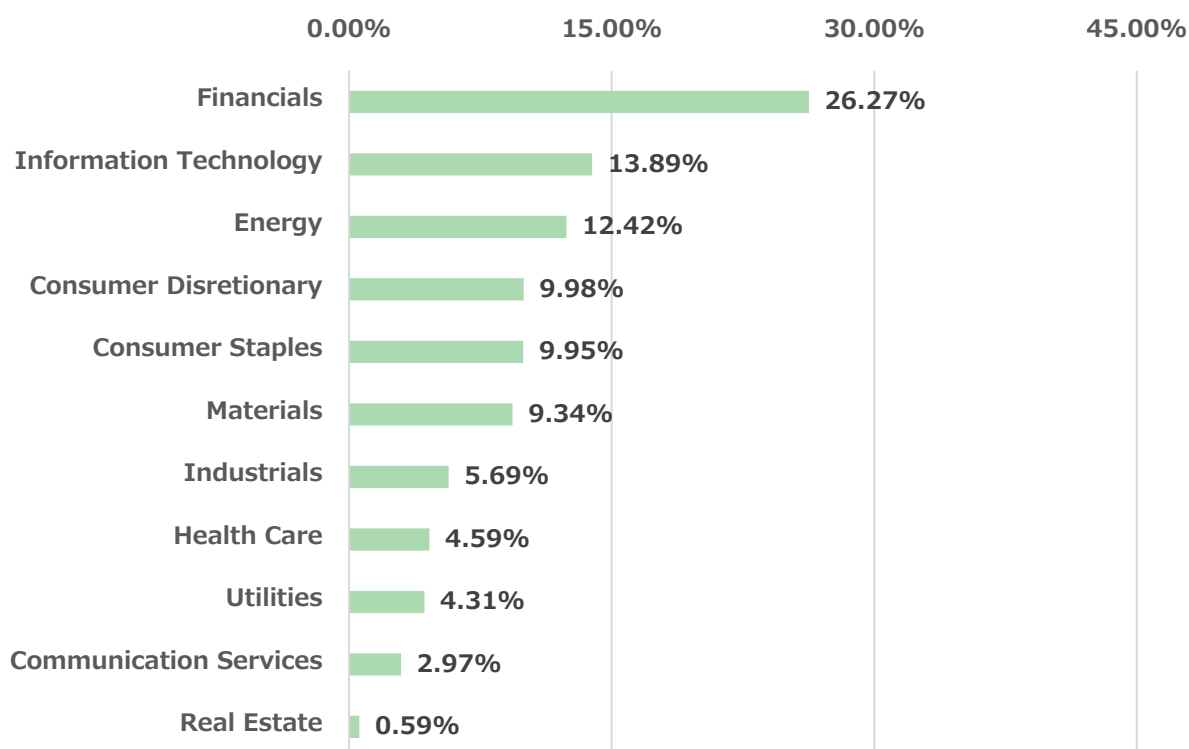
※（出典）各種公開情報より大和アセットマネジメントが作成。

※2023年4月末時点の情報

※MSCI India Indexは、MSCI Inc.の登録商標です。指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。

| グラフ8 : Nifty 50 Indexの業種^{※1}ウエイト (NSE分類)

| グラフ9 : MSCI India Indexの業種ウエイト (GICS分類)



※1 Nifty 50 Indexの業種分類はインドナショナル証券取引所 (NSE) が定めるNSE分類に準じています。

※ (出典) 各種公開情報より大和アセットマネジメントが作成。

※2023年4月末時点の情報

※MSCI India Indexは、MSCI Inc.の登録商標です。指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。

ファンドの目的・特色

ファンドの目的

- ・インドの株式に投資し、Nifty50 指数（配当込み、円ベース）の動きに連動した投資成果をめざします。

ファンドの特色

- ・インドの株式に投資し、Nifty50 指数（配当込み、円ベース）の動きに連動させることをめざして運用を行ないます。

当ファンドは、NSE INDICES LIMITED が発起、保証、販売または販売促進を行っているものではありません。NSE INDICES LIMITED は、当ファンドの所有者または一般のいかなる人に対しても、有価証券全般または当ファンドへの投資の妥当性、あるいは Nifty50 指数のインド株式市場全体のパフォーマンスへの連動性について、明示的か黙示的かを問わず、何らの表明もしくは保証を行いません。

NSE INDICES LIMITED と大和アセットマネジメント株式会社との関係は、NSE INDICES LIMITED が、大和アセットマネジメント株式会社または当ファンドとは無関係に決定、構築および算出を行う指数と指数に関連する商標および商号についての使用を許諾することだけでしかありません。

NSE INDICES LIMITED は、Nifty50 指数の決定、構築および計算に関して、大和アセットマネジメント株式会社または当ファンドの所有者の要望を考慮する義務を負いません。

NSE INDICES LIMITED は、当ファンドの設定に関してその時期、価格もしくは数量の決定について、または当ファンドを換金する際の算式の決定もしくは計算についての責任を負っておらず、また関与もしていません。

NSE INDICES LIMITED は、当ファンドの管理、販売または取引に関していかなる義務または責任も負いません。

NSE INDICES LIMITED は、Nifty50 指数とそれに含まれるデータの正確性、完全性を保証するものではなく、その誤り、欠落、障害に対していかなる責任も負わないものとします。

NSE INDICES LIMITED は、Nifty50 指数またはそれに含まれるデータの利用により、大和アセットマネジメント株式会社、当ファンドの所有者、またはその他いかなる者もしくは組織に生じた結果についても、明示的か黙示的かを問わず、何らの保証も行いません。

NSE INDICES LIMITED は、明示的か黙示的かを問わず、何らの保証も行わず、かつ Nifty50 指数またはそれに含まれるデータに関して、商品性または特定の目的または使用に対する適合性のすべての保証を明示的に否認します。

上記に関わらず、NSE INDICES LIMITED は、いかなる直接的、特別の、懲罰的、間接的または結果的損害（逸失利益を含む）も含めて、本ファンドに起因または関連するあらゆる請求、損害または損失について、たとえそれらの可能性につき通知されていたとしても、何らの責任も負いません。

投資リスク

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、**投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。**基準価額の変動要因は、以下のとおりです。

株価の変動 (価格変動リスク・信用リスク)	株価は、政治・経済情勢、発行企業の業績、市場の需給等を反映して変動します。発行企業が経営不安、倒産等に陥った場合には、投資資金が回収できなくなることもあります。組入銘柄の株価が下落した場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。 新興国の証券市場は、先進国の証券市場に比べ、一般に市場規模や取引量が小さく、流動性が低いことにより本来想定される投資価値とは乖離した価格水準で取引される場合もあるなど、価格の変動性が大きくなる傾向が考えられます。
為替変動リスク	外貨建資産については、資産自体の価格変動のほか、当該外貨の円に対する為替レートの変動の影響を受けます。組入外貨建資産について、当該外貨の為替レートが円高方向に進んだ場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。 特に、新興国の為替レートは短期間に大幅に変動することがあり、先進国と比較して、相対的に高い為替変動リスクがあります。
カントリー・リスク	投資対象国・地域において、政治・経済情勢の変化等により市場に混乱が生じた場合、または取引に対して新たな規制が設けられた場合には、基準価額が予想外に下落したり、方針に沿った運用が困難となることがあります。 新興国への投資には、先進国と比べて大きなカントリー・リスクが伴います。
その他	解約資金を手当てするため組入証券を売却する際、市場規模や市場動向によっては市場実勢を押下げ、当初期待される価格で売却できないこともあります。この場合、基準価額が下落する要因となります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※詳しくは「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

その他の留意点

- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第 37 条の 6 の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
- 当ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込みの受け付けが中止となる可能性、換金代金のお支払いが遅延する可能性があります。
- インドの金融商品取引所で取引されている株式は、インドの税制に従って課税されます。インドにおける、非居住者による株式の売却益（キャピタル・ゲイン）に対する税負担等が、基準価額に影響を与える可能性があります。また、外国人機関投資家の保有比率等に制限のある銘柄を投資対象とする場合には、運用上の制約を受ける場合があります。インドの税制・制度等は、変更となる場合があります。

■ ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用			
	料率等	費用の内容	
購入時手数料	販売会社が別に定める率 ※徴収している販売会社はありません。	—	
信託財産留保額	ありません。	—	
投資者が信託財産で間接的に負担する費用			
	料率等	費用の内容	
運用管理費用 (信託報酬)	<u>年率0.781%</u> <u>(税抜0.71%)</u>	運用管理費用の総額は、日々の信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。運用管理費用は、毎日計上され日々の基準価額に反映されます。	
配分 (税抜) (注1)	委託会社	年率0.37%	ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価です。
	販売会社	年率0.32%	運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価です。
	受託会社	年率0.02%	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価です。
その他の費用・ 手数料	(注2)	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。	

(注1)「運用管理費用の配分」には、別途消費税率を乗じた額がかかります。

(注2)「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※運用管理費用の信託財産からの支払いは、毎計算期間の最初の6か月終了日(休業日の場合翌営業日)および毎計算期末または信託終了時に行なわれます。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。また、上場投資信託証券は市場価格により取引されており、費用を表示することができません。

※詳しくは「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

お申込みメモ

購入単位	最低単位を1円単位または1口単位として販売会社が定める単位
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額（1万口当たり）
購入代金	販売会社が定める期日までにお支払い下さい。
換金単位	最低単位を1口単位として販売会社が定める単位
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額（1万口当たり）
換金代金	原則として換金申込受付日から起算して6営業日目からお支払いします。
申込受付中止日	① シンガポール証券取引所またはナショナル証券取引所（インド）の休業日 ② ①のほか、一部解約金の支払い等に支障を来すおそれがあるとして委託会社が定める日 （注）申込受付中止日は、販売会社または委託会社にお問合わせ下さい。
申込締切時間	午後3時まで（販売会社所定の事務手続きが完了したもの）
換金制限	信託財産の資金管理を円滑に行なうために大口の換金申込みには制限があります。
購入・換金申込受付 の中止および取消し	金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止その他やむを得ない事情が発生した場合には、購入、換金の申込みの受け付けを中止すること、すでに受け付けた購入、換金の申込みを取消すことがあります。
繰上償還	次のいずれかの場合には、委託会社は、事前に受益者の意向を確認し、受託会社と合意のうえ、信託契約を解約し、信託を終了（繰上償還）できます。 ・受益権の口数が30億口を下ることとなった場合 ・信託契約を解約することが受益者のため有利であると認めるとき ・やむを得ない事情が発生したとき
収益分配	年1回、収益分配方針に基づいて収益の分配を行ないます。 （注）当ファンドには、「分配金再投資コース」と「分配金支払いコース」があります。なお、お取扱い可能なコースおよびコース名については異なる場合がありますので、販売会社にお問合わせ下さい。
課税関係	課税上は株式投資信託として取扱われます。配当控除、益金不算入制度の適用はありません。公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。なお、当ファンドの非課税口座における取扱いは販売会社により異なる場合がありますので、くわしくは、販売会社にお問合わせ下さい。 ※税法が改正された場合等には変更される場合があります。

設定・運用:

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

商号等

大和アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号
一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

加入協会

※詳しくは「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和アセットマネジメント株式会社が作成したものです。
- 当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡す「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失はすべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。
- 投資信託は預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は投資者保護基金の対象ではありません。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。また、税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資者の皆さまの実質的な投資成果を示すものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。記載する投資判断は現時点のものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。
- 当資料中で個別企業名が記載されている場合、あくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。
- 分配金は収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

iFreeNEXT インド株インデックス

販売会社名（業態別、50音順） （金融商品取引業者名）		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 第二種金融商 品取引業協会
株式会社SBI新生銀行 （委託金融商品取引業者 株式会社SBI証券）	登録金融機関	関東財務局長(登金)第10号	○	○		
株式会社SBI新生銀行 （委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社）	登録金融機関	関東財務局長(登金)第10号	○	○		
auカブコム証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第61号	○	○	○	○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○	○		○
松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第164号	○	○		
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	○
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○

上記の販売会社は今後変更となる場合があります。また、販売会社によって、新規のご購入の取扱いを行っていない場合や、お申込み方法・条件等が異なります。くわしくは、販売会社にお問合わせ下さい。